

『これからの取り組みについて』

ネッツトヨタ南国株式会社
常務取締役 野々宮哲郎



この度、労務管理者協議会のメンバーとして例会に参加させていただくことになりましたネッツトヨタ南国(株)の野々宮哲郎と申します。よろしくお願ひいたします。

まずは、簡単に自己紹介をさせていただきます。私は昭和 61 年にネッツトヨタ南国(旧社名：トヨタビスタ高知)に入社し、営業職、営業管理職を約 30 数年勤めました。そして今年 4 月より営業部門から管理部門という初めて取り組む分野の仕事を受け持つこととなり、今まであまり関わる事がなかった(関心を持っていなかった)けれども会社にとって重要な事柄や、知識や経験がなくて分からない事柄(こと)が本当にたくさんあることに直面しています。今の仕事で少しでも役に立てるように、周りの環境がめまぐるしく変わっていく中で改善点があれば変えていくように、この機会に初心に戻っていろいろと勉強していこうと考えて 3 月の例会より出席させていただいております。

私は学生時代バドミントン部に所属し、以来身体を動かすことが好きでジョギングを趣味としていましたが、最近膝を痛め復帰に向けて治療中です。今は毎朝畑に通うほど野菜作りに凝ってしまい、野菜を育てることと食べることを楽しみにして休日も過ごしています。また、お酒を飲むことも好きで飲みすぎに注意をしながら晩酌を楽しんでいます。

さて、昨今の人口減少や高齢化の進展の流れに伴い労働力人口が年々減少していき、人材の確保、育成や人事管理はどの業界においても事業を継続していくために最重要の経営課題になっていると思います。まさ

しく当社もこれらの問題に直面して、今後ますます深刻な問題になっていくことが予想されます。

採用に関しては、当社は全社員採用を掲げ、会社体験会型のインターンシップで会社との相互理解を深めていく取り組みや高校生採用活動にも力を入れています。今後当社への就職を志望する学生さんは将来にわたって減少していくと予想されます。時代に合わせたこれからの採用活動を検討しながら、社員をはじめ社内外の信頼できる人脈を介した採用活動や、トヨタ自動車でもすすめている、自己都合で退職した人を年齢問わず再雇用することも取り組んでいくことができるのではないかと考えています。また、新人から管理職までの職層に合わせた人材育成、終身雇用や年功序列に代表される人事管理を今後どのように展開していくのかということも検討していく課題ではないかと思ひます。また、子育てをする親や親族の介護を必要とする社員の働きやすい職場環境を整備すること、副業の問題(を検討していくこと)なども取り組みの課題となってくると考えます。

今抱えている(考えている)課題に対して関連した情報を収集し社内で検討していきたいと思ひますが、今までのやり方を続けていくのか、見直して新しいことを始めるのかということは難しい問題がたくさんあり時間をかけて検討していく課題であると思ひます(時間がかかることと予想されます)。例会での講演や様々な業種の担当者の方のお取組みを参考にさせていただき、今後の当社の業務に活かしていくよう取り組んでいきたいと思ひます。今後ともよろし

くお願いいたします。